

福島県立郡山北工業高等学校



校舎全景

同窓会報

発行所  
〒963 福島県郡山市富久山町八山田大林1  
福島県立郡山北工業高等学校同窓会  
郡山 (0249) 32-1199  
発行者 渡辺達英  
編集者 広江力男  
発行部数 8,000部  
印刷所  
(有)ヤシマ孔房  
〒963 郡山市葉根1-6-21  
☎ 22-3533代

ご注意

産報通信と称する広告業社が、学校、同窓会名を  
使っている様ですが全く関係ありません。御注意下さい。

歴史の糸はその年々の重  
みを加え、太く細く長々と  
続く、その紡に残された過  
去をふり返り、思い出は去  
って行く。郡工と西工の歴  
史の糸も、北工となつて経  
りも長く、はやくも十年が  
過ぎた。昨年十一月の記念  
事業には、多くの同窓会員  
から、多額の募金をいただ  
きこの紙面をかりて御礼申  
上げます。

校門の建設については記  
念祝賀会に間に合わず、よ  
うやく今年二月二十四日竣  
工の予定になり、卒業生の  
記念品として、巨大な門柱  
が広大な校地にふさわしく  
完成し、これから母校の歴  
史を見つめ、数々の話題を  
生んで行くことであろう。

もう一つの事業である同  
窓会名簿は、今準備の段階  
であり、事務局から調査の  
資料や、協力のお願い等多  
々あると思います。今まで



十周年によせて  
同窓会長 渡辺 達英

不明の点が多いので、知っ  
ている範囲でお知らせいた  
だきたい。名簿の発行は郡  
工で二回、西工で一回、北  
工になって初めての大事業  
である。会員各位の充分な  
ご協力を期待致します。

十年一昔と云うが、統一  
北工への道程の中で種々あ  
つたが、過去の思い出とし  
ておこう。とにかく各同窓  
生がスクラムを組んで、北  
工母校の精神を培い、友好  
を深めることである。サツ  
カー部が全国大会に出場し  
正月の話題をにぎわし、残  
念にも敗れたが、北工精神  
を発揮し健闘したことは喜  
ばしい。これもチームワー  
クの良さである。我々もし  
っかりチームワークを組ん  
で社会に誇れる同窓会をつ  
くりたい。

一、五月十七日(日)  
午後二時より  
一、場所 多楽食堂  
郡山市下町  
一、会費 三千元  
(当日持参下さい)  
懇親会

昭和62年度定期総  
会を左記のように開  
催いたします。多数  
参加して下さいませ  
ようご案内申し上げます。  
尚新会員はご  
招待いたしますので  
会費は無料です。

昭和62年度  
同窓会  
総会通知

つても、どんな会・組織で  
あつてもまずあることで、  
一つ一つ皆んな一緒になつ  
て考えながら、良い結果を  
見たいと思う、十年と云う  
一つの節目に来たわけで、  
この後十年学校がどんなに  
変わるかわからないが目標に  
向つて進んで行きたい。ど  
んな所で逢つても、先輩・  
後輩と笑顔であいさつの出  
来る仲間、悲しみを分か合  
える仲間になろう。母校の  
発展を祈りつつペンを置く。

同窓会員数

合計	郡山北	郡山西	郡山工
	定	全	全
	四〇九	三、七三	五、〇三

- 会長 24機 渡辺 達英
- 副会長 26機 佐藤 正夫
- 局長 26機 今泉 善治
- 監事 40機 今泉 顕喜
- 24機 佐久間秀夫
- 24機 加藤 和夫
- 26機 滝田孝太郎
- 42機 三本木勝彦
- 53機

同窓会役員名簿

昭和六十一年四月、本校  
校長就任せるも、六月十九  
日、心不全の為、急逝され  
ました。五月十八日、総会  
では元氣発刺、高度技術集  
積や統合十周年について話  
されました。先生は今の安  
積高、岩手大卒で教職三十  
九年余、享年五十七歳。開  
成平安閣での告別式には関  
係者・同窓生・生徒代表等  
一千人余が参列しました。  
謹しんで、御冥福をお祈り  
申し上げます。

前川善明  
前校長

文房具・事務用品・ファンシー・アクセサリー・画材

有限会社 渡 達

代表取締役 渡辺 達英 (昭24機械)

郡山市麓山通り (市民会館入口) TEL22-1159



# 創立十周年に 思 う

学校長 佐藤 正与

の賜であり心から感謝申し上げます。

本校の新しい歴史の最初の節目としての創立十周年記念式典を去る十一月七日に多数の来賓と全校生徒が出席して厳粛な中に盛大に挙行することが出来ました。

昭和五十二年四月に郡山工業高校と郡山西工業高校が統合して郡山北工業高校が発足してから十年が過ぎ去りました。

このたびの創立十周年記念事業につきましては千百余名に及ぶ多数の同窓生の方々より多額のご芳志を頂いて所期の目標の事業を行うことができました。なかでも校門建設については、格別のご協力をいただき見事な校門が二月末には完成致しました。

本校が十年という短い歳月でこのように近代的な白亜の殿堂と施設設備を整え、東日本で最大規模の工業高校にまで発展し得たのは、是が当局的努力も然ることながら、同窓生の皆様の常日頃からの母校に対するご協力

更に創立十周年を祝福するように、記念式典の翌十一月八日には本校サッカー部が全国高校サッカー選手権福島県大会で優勝し、本校の名声をいやがうえにも盛り上げてくれました。

新春正月三日に行われたした全国大会では日頃の練習の成果を充分に発揮し、強豪四日市中央工業(昨年の準優勝校)と善戦空しく三対二で惜敗したものの、選手諸君の動きのよさと最後の一秒まで全力をつくした粘り強さは、多くの市民から絶賛を浴びたほど良い試合でありました。

この千葉県営競技場での全国大会には、物心両面にわたり同窓生の皆様方より心からなる応援とご援助を頂きましたこと、重ねて厚くお礼申し上げます。

これからは新たな充実と成長発展を期して創立二十二年に向かって努力して行

ことが私達の課題であると考えておりますので、今後とも変わらぬご指導ご協力をお願いいたします。

本当にいろいろな事があった一年間でした。学校行事をふりかえってみて、同窓生に母校を思い出さすようにでもなればと思ひ、学校の近況をお伝えいたします。

六月十六日、在校生に直接関係のある行事ではありませんが、県下百三十校のPTA会長、校長先生をはじめ国会議員、県議、県教育委員等の多数の関係者七百余名が本校に集まり県高等学校PTA大会が開催されました。

とも変わらぬご指導ご協力をお願いいたします。



# 学校行事を ふり返つて

教頭 菅野 祐一

直後の六月十九日、前川善明前校長が急逝された事は痛恨の極みでした。

八月五日の集中豪雨により郡山市内、特に逢瀬川、阿武隈川河畔は大被害をこうむりました。

# 県高P連大会の 会場校

不況の中ではありましたが、個人も会社も立ちもどり、就職状況もどうやら前年同様に一〇〇%になりました。これひとえに、先輩各位が社会的に要職にあり活躍されておることから、郡山北工業高校が高く評価されたものと思われま

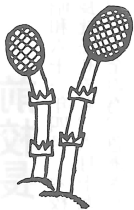
生、恩師をはじめ多数の方々が列席されました。ロスオリンピックメダリスト具志堅幸司先生の講演「限界への挑戦」は生徒に多大の感銘を与えました。同時に開催した「北嶺祭」も含めて郡山北工業高校の先端技術への挑戦の有様は、数千人の方々に認められました。

この事業のために、二十人近い同窓生から寄附が届けられ、記念誌の発行、校門の建立等がとどこおりなく遂行することができました。加えてサッカー全国大会へも御支援、感謝申し上げます。

「帰省して初めて知りませんでした。遅れて申し訳ございません」と、わざわざ学校に届けてくれた同窓生もあり感動いたしました。皆様方に深く感謝申し上げますとともに、郡山北工同窓会会員の方々の御健勝をお祈り申し上げます。

# 創立十周年 記念事業

十一月七日、創立十周年記念式典が挙行され、同窓



# ●カーコンサルタント

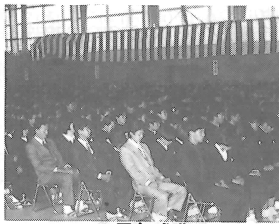


# 株式会社 今 川

代表取締役 今川 直彦 (昭34機)

本社 〒963-01 郡山市安積町荒井東前田37-3  
☎0249 (45) 1 6 2 3 (代)  
車検センター 郡山市安積二丁目184-1  
☎0249 (45) 8 3 0 0  
(株)太成 郡山市安積町成田字高田47  
カーサービス ☎0249 (45) 2 4 7 8





10周年式典

# 郡工・郡西・郡北工 統合10周年・北嶺祭③

1986.11.7 式典 11.8-9 祭典

## 盛大に五千三百人

### 具志堅幸司氏講演

郡山工高・郡山西工高統合郡北工高統合10周年式典は一九八六年十一月七日、体育館に千七百人が参集して盛大に挙行されました。佐藤正与校長、渡辺達英実行委員長、青木久市長等十名の式辞や祝辞があり、永年勤続の先生百四十名が表彰されました。

次いで体操競技金銀銅メダルの具志堅幸司日本体育大教員の「限界への挑戦」と題する講演がユーモアたっぷり、華を添えました。

十一月八・九日には、先端技術への挑戦という標題で第三回北嶺祭が、校舎内外七十室会場を所狭しと展開され、市民・生徒三千五百人が参観してくれました。

北嶺祭の真つ最中、郡山開成山で、サッカー県大会決勝戦が全郡山商応援の中で展開、郡北は4-1で優勝し、一月初め、全国大会に駒を進めました。

式典の経費は凡そ二千万円、記念誌北の駿馬たちに二百、校門に四百万円支出。同窓会員から期待以上の寄

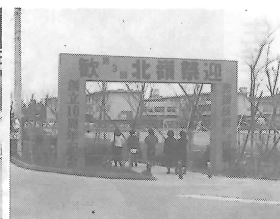
金に会では感謝しています。



入口の雑踏



開幕直前



北嶺祭入場門



## 定時制の現況

教頭 佐久間 房次

同窓生の皆様には益々ご清栄のことと拝察申し上げます。

戦後発足した定時制教育は来年度四十周年を迎え、八月には東京虎の門ホールで記念事業が盛大に開かれることになり、準備が進められております。この間、

定時制高校生徒の在籍数は昭和二十八年をピークに減少を続け、五十八年を最低に現在僅かながら増加の傾向にあります。定時制として生徒数の減少は最大の問題です。この度、定時制教育の見直しがなされ、

現在国では臨教審や協力者会議の報告を踏まえて生涯教育に視点を置いた単位制高校について検討、春には文部省省令とガイドラインが出される予定です。

本校定時制も昭和三十四年の発足以来、幾多の変遷を経ながらも同窓生の皆様のご理解とご協力に支えられながら今日を迎えております。昨春秋には北工創立十周年記念の行事が盛大に挙行されました。この中で

定時制の北嶺祭での生徒の展示発表は大変に好評でした。教職員が熱心な指導と生徒の参加が見事に調和し、日ごろの学習活動の成果、個人活動の紹介、必修クラブ、

個人研究など定時制ならではの充実した内容でした。現在、六十八名の多様な年代の生徒が、技術教育、情報化時代に適した教育と技術の習得に頑張っており、これらの生徒に力を与えるべく全員協力、鋭意努力しております。

一方、部活動においては今年も柔道・剣道・軟式庭球が全国大会に出場し活躍しました。生徒生活体験発表大会では二年生の渡辺軍一君が県南最優秀賞、県優秀賞の榮譽に輝きました。また今年度は基本的な生活習慣の確立のため「礼法と時間を守る」を中心に全校挙げて取り組み多大の成果を得ました。校内で互いに交わす「明るく元気なあいさつ」は本当に気持ちのよいものです。これらは円滑な人間関係や社会生活を営む上で大変に大切なことだと思っております。定時制では豊かな人間性を育むことを目標に教科外活動にも力を注いでいます。好天に恵まれてきた北海道修学旅行、工夫をこらした給食の実践等家庭的な雰囲気の中で進められております。

最近の円高不況は定時制生徒の頭上を重く覆い、大変な厳しさを感じます。同窓生の皆様には今後共一層のご支援を切にお願い致します。

個人研究など定時制ならではの充実した内容でした。現在、六十八名の多様な年代の生徒が、技術教育、情報化時代に適した教育と技術の習得に頑張っており、これらの生徒に力を与えるべく全員協力、鋭意努力しております。

「今日のスタミナ源」

味とボリュームの弁当

給食弁当・仕出し

# ホクト一食品

代表取締役 島崎 清 (42年建卒)

寿司,おにぎり,オードブル,etc

ご予算に応じて調整いたします。

工場 郡山市山崎305-90 TEL22-0166  
池ノ台店 郡山市池ノ台19-31 TEL22-7944

▶サッカー熱戦千葉



# 青春爆発 蹴球全国大会

## 生徒会・部活奮戦

### 郡北初陣惜敗

#### サッカー四日市工に2対3

第六十五回全国高校サッカー選手権大会福島県代表としての郡山チームは郡山市での壮行会の後、元旦、東京・国立競技場での開会式。次いで三日には千葉県総合運動場で、優勝候補の四日市中央と対戦した。

曇空、気温9度。郡山からの応援団バス6台二五〇人。試合開始14時15分。少ない好機を確実に生かす

空中戦で郡北先制点。後半四日市はシュートの猛攻で3点。橋本裕一斉藤真で2点を返したが惜敗。球の支配率は2対8と不利、シュート4対33の中、斉藤隆・真兄弟の技が物をいい、接戦へ持ち込んだ。

●仲本武司先生  
僅差で敗れたが、100%力を出し、最高の試合で、全国大会での上位入賞を目指して、新たな第一歩を記した。この三年低迷していたが、六月、十一月県大会輝く優勝と大いに気を吐いた。昭39郡西、昭43郡サッカー創立以来、23年目の快挙で、同窓生の皆様も後輩の偉業を称賛して下さい。

●笹島貞夫主将

何としても勝ちたかった。前半を折り返し勝てると思

つた。スピードでは負けなかったが、四日市には苦しまれた。新人もよくやっ

●斉藤真人選手  
郡山六中出身、二年電子。兄隆からのパスをシュート

し先制点。度胸満々、将来大いに期待できる。来年は四日市を倒すと胸張る。



▲熱烈な応援

### 生徒会この一年

#### ▼全日制

十周年記念式典、北嶺祭と慌しい中にも充実した一年でした。執行部・委員会・各部共、節目を意識し、計画的に、一体になって活動しました。行事一つ一つでも取り組みの姿勢がいつ

もとは違つて真剣でした。特にサッカーの全国大会出場に象徴されるように輝かしい戦績を残し、各部活動の上位大会出場で、派遣費が逼迫しました。

皆様の御支援に感謝すると共に、来年はひと区切り後の校風造りに邁進します。

#### ▼定時制

昭53規約改定の後、今年

は実態に合致したものとすべく、根本精神を生かし、簡素なものに改定しました。北嶺祭には生徒会総力を挙げて19・20番室は充満、好評を得、お蔭で専修コース希望者が十名近いのです。

#### ▼吹奏楽部

定期演奏会は一月十八日郡山市民センター大ホールで、満員の二千人が詰めかけ開かれました。バレエ組曲・交響詩・マーチングバンド・中森明菜の曲等を演奏し聴衆を魅了しました。

(教諭 中山郁子)

### 総合優勝を

#### ▼陸上競技部

基礎体力養成、走り込みに重点を置き、百米円谷、棒高安瀬、三段跳大石田、県一三位がめざましい。県駅伝第八位、白河クロス優勝、来年は総合優勝を目

指します。(教諭 星保男)

### 県優勝、東北惜敗

#### ▼ソフトボール部

結成九年目、高校総体・県大会優勝せるも僅差で全国出場成らず。新年度は北海道・沖繩を合言葉に一生懸命、猛練習に励みます。

(教諭 柳沼善久)

### 目標達成まで

#### ▼バドミントン部

郡山市・県南大会では団体・個人共に優勝、上位を独占したが、県大会ではシングル木船三位となるも体の故障・精神力の弱さで敗退。今ダブルスに力を入れています。(教諭 水田守)

### 高根沢県優勝

#### ▼弓道部

団体不振の中で、女子の高根沢・県優勝、橋本ひ三位。新人大会で伊東太、斉藤直、県準優勝という事で次年度に期待したい。

(教諭 池添祥史)

### 県南新人優勝

#### ▼水泳部

各地に水泳学校が隆盛する中、本校生は出身生皆無です。でも意欲と猛練習で県体五・六位、新人県南では優勝、個人十種目でした。

(教諭 田崎一守)

工作機械 / 板金機械 / 熔接機材 / 作業工具 / 測定工具 / 研磨材

## 株式会社 伊藤商店機材部

代表取締役 伊藤 英二 (28年度建築科卒)

〒963 郡山市菜根5丁目21番13号 ☎ (0249) 33-0611 (代)

統合十周年記念事業

寄金者名一覽

郡山工業高等専門学校

Table listing names of donors, organized by school affiliation (e.g., 遠藤, 石森, 伊藤, etc.) and their respective names.



総合防災プランナー 火災発見より消火まで

田村通信防災工業株式会社

代表取締役 増子 久治 (昭和42年卒)

福島県郡山市安積町荒井字下北井前4の1 ☎(0249)45-2882(代) F A X 46-2875



寄金者総括

郡山工高	4 3 7
郡山西工	1 7 4
郡山北工	5 3 3
校名不詳	1 9
計	1,163

三本木勝彦	酒井康	坂本育夫	坂本清美	相本芳正	酒井裕二	後藤信里	小針安宏	小室昭光	駒木根涉	国分宏徳	国分睦	古宮和彦	紺野ふみ子	小林春之	小林信夫	小針宣人	近野高弘	近野美行	国道彰洋	国分良一	国分宏信	小石沢幸夫	小林克也	近内寿子	古宮克幸	黒羽孝光	熊田勝夫	熊田孝光	郡司吉広	熊坂稔					
佐藤由美	齊藤高志	佐川尚久	齊藤勉	佐藤宏文	佐々木英二	佐藤昭憲	齊藤浩	佐藤満	齊藤一浩	佐藤弘幸	佐藤克己	佐藤正光	佐藤直也	三瓶徳雄	佐藤誠	佐藤家好	佐久間勝彦	三瓶輝男	佐藤勝博	佐藤敏	三本松重雄	佐久間良幸	佐久間明則	三瓶有	齊藤栄一	佐藤栄一	佐藤修	佐藤建二	酒井建二	佐藤清司	佐藤喜美男	三瓶正夫	三瓶正夫		
鈴木康	鈴木好	鈴木好	鈴木好	鈴木好	鈴木好	鈴木好	鈴木好	鈴木好	鈴木好	鈴木好	鈴木好	鈴木好	鈴木好	鈴木好	鈴木好	鈴木好	鈴木好	鈴木好	鈴木好	鈴木好	鈴木好	鈴木好	鈴木好	鈴木好	鈴木好	鈴木好	鈴木好	鈴木好	鈴木好	鈴木好	鈴木好	鈴木好	鈴木好	鈴木好	
三雄	敏宏	邦勉	辰美	邦夫	建二	俊之	仁	仁	仁	仁	仁	仁	仁	仁	仁	仁	仁	仁	仁	仁	仁	仁	仁	仁	仁	仁	仁	仁	仁	仁	仁	仁	仁	仁	
坪井茂	滝沢康	田辺仁	高野充	武田康	高橋博	田中神	田中強志	田中智恵子	田村安津子	滝田裕明	田中裕	滝田光	高野真一	高橋浩幸	高橋浩明	田中邦彦	高田正	高田文	高田文	高田文	高田文	高田文	高田文	高田文	高田文	高田文	高田文	高田文	高田文	高田文	高田文	高田文	高田文	高田文	
橋本二郎	橋本豊	橋本みゆき	原三郎	野内貞	根本勝	根本幸	根本孝	根本良	根本学	根本清	根本一	布川幸	榊沢義	新田辰	西岡康	西井康	七海正	長沢正	長沢正	長沢正	長沢正	長沢正	長沢正	長沢正	長沢正	長沢正	長沢正	長沢正	長沢正	長沢正	長沢正	長沢正	長沢正	長沢正	
古川喜代志	福田美代子	飛田史	平井裕	平井裕	人見信	久野義	平塚直	芳賀直	橋本学	橋本学	橋本学	橋本学	橋本学	橋本学	橋本学	橋本学	橋本学	橋本学	橋本学	橋本学	橋本学	橋本学	橋本学	橋本学	橋本学	橋本学	橋本学	橋本学	橋本学	橋本学	橋本学	橋本学	橋本学	橋本学	
丸帝一	増子幸	松崎均	町島安	丸山富	松本浩	増子正	松本幸	松本幸	松本幸	松本幸	松本幸	松本幸	松本幸	松本幸	松本幸	松本幸	松本幸	松本幸	松本幸	松本幸	松本幸	松本幸	松本幸	松本幸	松本幸	松本幸	松本幸	松本幸	松本幸	松本幸	松本幸	松本幸	松本幸	松本幸	
山本彰	山口幸	矢吹光	箭代善	柳田勝	柳田賢	山岸伸	矢吹智	山口和	矢吹好	矢吹好	矢吹好	矢吹好	矢吹好	矢吹好	矢吹好	矢吹好	矢吹好	矢吹好	矢吹好	矢吹好	矢吹好	矢吹好	矢吹好	矢吹好	矢吹好	矢吹好	矢吹好	矢吹好	矢吹好	矢吹好	矢吹好	矢吹好	矢吹好	矢吹好	
佐藤好二	小山冬	角野正	荻野尚	伊藤幸	伊藤幸	伊藤幸	伊藤幸	伊藤幸	伊藤幸	伊藤幸	伊藤幸	伊藤幸	伊藤幸	伊藤幸	伊藤幸	伊藤幸	伊藤幸	伊藤幸	伊藤幸	伊藤幸	伊藤幸	伊藤幸	伊藤幸	伊藤幸	伊藤幸	伊藤幸	伊藤幸	伊藤幸	伊藤幸	伊藤幸	伊藤幸	伊藤幸	伊藤幸	伊藤幸	
高田満	先崎ゆ	鈴木敏	佐藤佳	佐藤正	佐藤正	佐藤正	佐藤正	佐藤正	佐藤正	佐藤正	佐藤正	佐藤正	佐藤正	佐藤正	佐藤正	佐藤正	佐藤正	佐藤正	佐藤正	佐藤正	佐藤正	佐藤正	佐藤正	佐藤正	佐藤正	佐藤正	佐藤正	佐藤正	佐藤正	佐藤正	佐藤正	佐藤正	佐藤正	佐藤正	

★新刊 書籍・雑誌・教科書・北工教科書  
 辞典・参考書・文庫 etc 取扱店

**(有) 松 文 堂 書 店**

堂前店 / 郡山市堂前町(如宝寺前) ☎(32) 2 3 6 2

山本 柳 蛇  
 吹 均 道 石  
 寛 夫 功  
 渡 吉  
 辺 岡  
 雅 功  
 春 吉  
 正  
 徳

事務局  
だより

昭和61年度定例総会  
式典名称で合意

1986.  
5.18

昭和六十一年度定例総会は、五月十八日(日)午後二時より「多楽食堂」の二階において職員・来賓多数の御臨席を得て同窓生二十三名が参加して開催されました。佐藤正夫副会長の開会のことばで総会が始まり、会長より出席された来賓の紹介があり、また広江事務局長より、職員の紹介があり、議事が進みました。おもな内容は決算報告、予算案等が別紙の通り可決されました。尚基本金よりマイコン購入金七十万円支出について、今年は母校の創立十周年を祝う式典が開催されるので本会としても御祝金百万円支出について、広江事務局長より説明があり、承認されました。次に会計監事一名補充について、北五十三年度卒の三本木勝彦氏にお願いしたい旨事務局長より提案、満場一致で決定しました。引き続き母校の創立十周年記念式について話し合いに移り、菅野教頭より期日は十一月七日、八日、九日に実施する、実行委員会を組織して(同窓会の会長、副会長、事務局長も参

加)考えている訳だが現在のところ内容と費用は、記念式典、祝賀会、北嶺祭、誌発行、校門作成、同窓会員名簿作成等、母校関係団体、生徒会よりの金額が四百五十万円になる。これでは費用が少ないので同窓会で基金をしていただくので協力してほしい旨説明があった。これについて事務局長より同窓会名簿作成のことを考えて募金を実施したい旨協力の話があった。全員賛成した。次に式典の名称について会長より本校は郡工、西工の合併により出来た学校なので、北工創立十周年ではおかしいのではないかと、皆さんの考えをおきかせ願いたい。四、五名の種々の意見があった。郡工の創立期より数えてきめたらどうか。三つの校名を入れて十周年としてはどうか。二つの校名を入れて北工創立十周年としてはどうか等の意見があり、故前川校長より本校は会長の考え通り郡工、西工の合併により出来た学校なので二つの校名を入れて北工創立十周年記念式典と現在正考えている。しかし同窓生の事を考えて、もっとよい考えがあれば私のところに話しをして下さい。郡工、西工の卒業生がマイナスにならないようなタイトルにしたいと思う旨の説明があった。これについて会員は納得した。これで全て終了し、引続いて恒例の懇親会が盛大に行なわれました。

郡山北工現勢

1986. 5. 1

位置	緯緯高	(度)	140°22'44"
東北標	緯緯高	(度)	37°30'26"
校地等	敷地内運動場(ヶ)	面積(平方米)	87,297
	校舎(ヶ)		37,200
			21,780
生徒	全定	日時計制	1,249
			(132)
			74
			1,323
教職員	全定	日時計制	115
			24
			139
進路	進学	学	31
	第2次	第3次	287
	第1(自営)		80
			(40)
	就職地域別	福島県	253 (33)
		茨城県	96 (6)
		東京都	11 (1)
		千葉県	2
		宮城県	5
		他	2
	定	民間企業	9

(注) カッコ内は女子、自営等。  
県内就職70%

支 部 連 絡 先

〒	方 部 名	方部長名	卒業年度	勤 務 地	現 住 所
145	東京支部	小野寺 昭	23機	☎03-276-5122 日東紡績K.K 建材事業本部	☎03-729-3611 東京都太田区北嶺27-4
203	東京支部事務局長	渡辺 達良	28建	☎03-364-1365 建築工房 いらか	☎0424-72-6573 東京都東久留米市滝山6-2-12-402
320	宇都宮支部	吉田 良毅	31機	富士重工K.K 宇都宮製作所	☎0286-58-8967 栃木県宇都宮市今宮4-1973-3
312	水戸支部	山崎 功	29機	K.K日立製作所 水戸工場	茨城県勝田市中根4950-14
316	日立支部	山川 敏夫	27機	K.K日立製作所 日立工場	☎0249-37-5534 茨城県日立市金沢町5-7-5
362	埼玉支部	土屋 勇	29機	日産ディーゼルK.K 上尾工場	埼玉県上尾市緑ヶ丘1-2-23
961	白河方部	清水 国雄	25機	清水建設工業K.K (自営)	☎0248-22-3086 白河市南町44
969-13	郡山市役所方部	加藤 宰司	25機	郡山市役所	☎0243-48-2811 安達県大玉村玉井字薄黒内127
963-01	日東富久山方部	高橋 英雄	25機	日東紡績K.K 富久山工場	郡山市安積町柴宮27-10
963	本部 会長	渡辺 達英	24機	☎0249-22-1159 渡辺文房具店 (自営)	☎0249-22-1159 郡山市麓山町1-16-28
963	本部 事務局長	広江 力男	24機	☎0249-32-1199 福島県立郡山北工業高等学校	☎0249-32-6851 郡山市長者2-17-6



大友パン

郡山市さくら通り TEL23-6536



### 同窓会予算・決算報告

#### ①収入の部

項目	昭60決算	昭61予算
繰越金	209,593	380,165
会費	1,224,000	1,254,000
入会金	1,335,000	1,287,000
利子	4,138	100
雑収入	69,000	60,000
合計	2,422,545	2,220,000

#### ②支出の部

基本	244,800	508,200
会費	241,900	220,000
事務費	42,400	43,000
慶弔費	141,080	112,000
通信費	393,410	398,000
旅費	35,400	37,000
会誌編集費	203,240	204,000
渉外費	35,400	35,000
記念品	157,480	158,000
事務局費	80,000	80,000
予備費	28,000	25,735
特別費	1,200,000	400,000
合計	2,802,710	2,220,000

### 昭和60基本会会計報告

#### ①収入の部

繰越金	3,512,432
利子	622,535
昭61年度基本金	847×3,000×0.2
合計	4,643,167

#### ②支出の部

マイコン・北工創立十周年記念式典補助	1,700,000
次年度繰越金	2,943,167

### 新入会員

各年2月末

科	'87	'86	'85
機械	117	119	119
電気	82	82	77
電子	42	42	38
情報	42	43	39
建工	41	41	38
化工	81	82	73
定機	5	3	11
定電	3	6	16
合計	413	418	411

(注) 87年2月は見込み

昭和六十二年十二月を日指し、会員名簿を発行することになりました。つきましては前々からクラス幹事の方にお願ひし調査して頂くかと考えましたが、今度お願ひする印刷所は「関西廣済堂」と云う会社で、数多くの名簿を作成しているで卒業時の名簿があればよいということ、クラス幹事の方々の御苦労をいただかなくても出来そうなので御了承下さい。

次にこの名簿作成にあたっては三回連絡が同窓生の実家、又は自宅に行くと思ひますので、その内容をきちんと書いて送って下さい。また名簿の費用はB5版で一冊三千八百円位だと思ひ

ます。本部事務局にも若干の残部はおきませんが、各人申込されるようお願いいたします。

尚この名簿作成費用の件で広告を百六拾万円以上とすることになります。一頁五万円、半頁三万円、四分の一頁二万円です。自分で商売、会社、工場等を経営されておられる方は、良い宣伝の機会ですので多数申込んで下さいませようお願ひ申し上げます。

ご存知のように名簿作成には莫大な経費がかかります。したがって会員皆様の御協力が必要ですのでぜひ御購入下さいますようお願い申し上げます。

## 同窓会員名簿刊行

一万六千人掲載、本年十二月  
 広告代 二〇五万円

### 教職員異動

職名	氏名	科名	転出先	職名	氏名	科名	前任校
校長	松本 紹夫		退職	校長	前川 善明	機械	喜多方工
教諭	鈴木 茂	工化	退職	校長	佐藤 正与	電気	小高工
教諭	渡辺 慶一	数学	退職	教諭	佐藤 国喜	社会	小野平田
主実講	国井 貞美	建築	退職	教諭	本田 浩	数学	田村高
主実講	新野 茂	機械	退職	教諭	兼田 信男	化工	勿来工
教諭	栃沢巴知夫	社会	小野高	教諭	小針 治	理科	矢吹高
教諭	菊地 暁男	電子	二本松高	教諭	斎藤 昭夫	英語	田村高
教諭	安西吉二郎	数学	田村高	教諭	佐々木 孝	数学	船引高
教諭	岡田 俊彦	英語	田村高	教諭	吉田 迪徳	英語	須賀川高
教諭	吉田 正夫	情報	教育センタ	教諭	羽二生幸雄	電子	二本松工
実講	関根 孝良	工化	小高工	主実講	菊地 力	機械	二本松工
実講	加藤 正明	情報	平工高	実講	影山 清子	化工	福工高
常勤講	荒池 裕	英語	安二高	実助	田母神三知夫	情報	白河実
常勤講	斎藤 裕樹	理科	退職	実助	富樫 実	建築	新採用
主査	斎藤 勇治	事務	郡山高	主査	佐久間岑夫	事務	郡山建設
主事	緑川 定男	事務	郡女高	臨時事	箭内 京子	事務	郡短大卒

(定時制)

(定時制)

教諭	西浦 弘	機械	退職	教諭	渡辺 慎吾	機械	小高工高
常勤講	佐藤 弘雄	電気	平工高	教諭	松本 善法	機械	新採用

(宿日直代行員) 退職

(注) 前川校長 1986. 6. 19死去

安川 音松・根本 吉明  
 登那木 正・根本 峯

佐藤校長 1986. 8. 20着任

ビユープラザ店(婦人靴・ハンドバッグ) ☎24-1144  
 希望ヶ丘店(袋物・鞆・アクセサリー) ☎52-0511  
 ビッグカウンター・サンレモ(コーヒー・レストラン) ☎24-0541



# 同窓会規約

## 第一章 総則

第一条 本会は福島県立郡山北工業高等学校同窓会と称し、本会の本部事務局は、福島県立郡山北工業高等学校(以下「母校」と称す)内におく。

第二条 本会は会員の親睦を図り互助の事業を行ない、母校教育の振興発展に努め、わが国の工業発展に寄与することを目的とする。

第三条 本会は第二条の目的を達成するため、次の事業を行なう。

- 一 母校の発展と会員の相互扶助に関する事業
- 二 会誌・会員名簿・その他図書印刷物の刊行
- 三 その他目的達成に必要な事業

## 第二章 会員

第四条 会員を分けて普通会員、名誉会員、特別会員、準会員とする。

- 一 普通会員は県立郡山工業高等学校・県立郡山西北工業高等学校・県立郡山北工業高等学校の出身者とする。
- 二 名誉会員は母校の旧校長とする。
- 三 特別会員は母校の現旧職員とする。

四 在校生は準会員とする。

## 第三章 役員

第五条 本会に次の役員をおく。

- 一 会長 一名
- 二 副会長 四名
- 三 監事 三名
- 四 常任幹事
- 五 幹事 各クラス一名
- 六 事務局局長 一名
- 七 事務局次長 二名

第六条 役員の仕事は次のとおりである。

- 一 会長は本会を代表し、会務一切を統括する。
- 二 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときは、その任務を代行する。
- 三 監事は本会の運営及び会計を監査し、幹事会に出席し発言できる。
- 四 常任幹事は本会の事業を執行する。
- 五 幹事は本会の事業を審議する。
- 六 事務局局長は会務の処理にあたる。
- 七 事務局次長は事務局長を補佐し庶務を分担する。

第七条 本会の役員は次の方法によって選出し、その任期は二年とする。但し再任を妨げない。

- 一 会長・副会長・監事は総会において選出する。
- 二 常任幹事・幹事・事務局局長は会長が委嘱する。
- 三 事務局次長は事務局長が選任する。

第八条 本会の会議は総会・幹事会・常任幹事会とする。

一 総会は本会の最高決議機関であって、毎年一回会長がこれを召集する。但し幹事会が必要と認めた場合は、臨時に開くことができる。総会は出席人員をもって成立し、決議は出席者の過半数の同意を必要とする。

二 幹事会は正副会長・事務局局長・同次長・常任幹事・幹事・監事で構成し、総会につぐ決議機関である。

## 第四章 会議

三 常任幹事会は正副会長・事務局局長・同次長・常任幹事・監事で構成し、会務を審議執行する。

第九條 必要に応じて、役員会を開くことができ、正副会長・事務局局長で構成する。

第十條 本会の経費は会費・入会金・事業収入・寄附金をもってこれをあつてる。

第十一條 普通会員は卒業の際終身会費三千元を入学時に入会金三千元を納入する。

第十二條 本会の入会金・終身会費の二割を、基本金として積立てる。

第十三條 本会の会計年度は四月に始まり、翌年三月に終る。

第十四條 本会に次の帳簿をおき、事務局で保管する。

- 一 規約綴
- 二 会員名簿
- 三 役員名簿
- 四 会計簿
- 五 記録簿
- 六 文書綴
- 七 備品台帳
- 八 その他必要と認められた帳簿

第十五條 本会に次の集会を設けることができる。

- 一 各支部会
- 二 各科会
- 三 同級会
- 四 その他の会

第十六條 本会に次の内規を設ける。

- 一 表彰内規
- 二 旅費内規
- 三 慶弔内規
- 四 会計内規

第十七條 本会会員は氏名・住所・勤務先等に変更があった場合、直ちに事務局に連絡しなければならぬ。

第十八條 規約の変更は総会において、出席会員の過半数の賛成を得なければならぬ。

附則 一 この規約は昭和五十二年十二月十八日より施行する。

一 この規約は昭和五十二年五月十八日より施行する。

## 編集後記

今冬欧米は寒波で、モスクワ氷点下25、パリ10度の日々。編集の二十頃暖冬。郡山の積雪、年一・五米。8冬、二・三月三回に亘ってドカッと各30センチ。郡工43、郡西24、郡北10周年経過。統合式典、北嶺祭、寄金者一覽等の為、編集方針途中で一部変更、御寄稿の方々に大変申訳ありません。去年入会式の二・二八夜はドカ雪30で卒業式を迎う。写真は広江・三田村等担当。(編集委員 高野 和雄)

産業安全用品・保護具・環境安全衛生機器のトップメーカー  
 “ミドリ安全”の全国直販サービスネットをご利用下さい

**福島ミドリ安全株式会社**

本店・郡山営業所 〒963 郡山市桑野三丁目20-39 ☎(0249)23-5178(代) いわき営業所 〒970 いわき市洋向台一丁目1番の2 ☎(0246)25-4060(代)  
 福島営業所 〒960 福島市館ノ前14-2 ☎(0245)34-7164(代) 会津若松営業所 〒965 会津若松市東出町大字石山字村西040-1 ☎(0242)26-5810